

代 表 質 問

2月21日の本会議で、4名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議団
おぎの けんじ



区長が招いた区政運営の大停滯

質問 保坂区政の場合たりのな区政運営により、行政の政策立案能力などが著しく劣化し、重要施策の延期が相次いでいる。区長は行政大停滯の改善に真摯に取り組め。

区長 自ら先頭に立ち議会とも目標を共有して区政の発展を目指す。将来像が定まらないDX推進

質問 将来像なき区のDX推進は進捗が遅く自治体間格差が広がる一方だ。今後迫られる申請不要でサービスを提供するプッシュ型行政への大転換に対応できるのか。

区長 区民が望む将来像を次期基本計画と合わせ議会と議論したい。改革意欲のない旧池尻中跡地活用

質問 当該跡地活用計画は土地の価値に見合わない凡庸な内容に加え実現可能性や事業の重複など問題が山積している。関連予算を取り下げ全庁的見地から再検討せよ。

区長 事業内容に関し議会などから意見を聞く必要があると考える。課題山積な新BOP事業への対応

質問 新BOPの利用者増に伴う施設の狭小化が深刻だ。区が民間導入を1年延期した以上、公共施設や認証保育所の活用など解消策を洗い出し計画的に改善を図れ。

副区長 課題の解決に向け、2022年9月を目途に具体案を示したい。交通不便地域対策の早期実施

質問 コロナ禍であっても多くの自治体が交通不便地域対策を前進させる中、区は4年半も検討中のままだ。相次ぐバス路線の廃止縮小も踏まえ早急に具体策を講じよ。

区長 デマンド型のニーズを調査し実証運行の早期実施を目指す。玉川野毛町公園の避難所機能整備

質問 多摩川沿いの野毛地域の住民は水害時に国分寺崖線を登り遠方への避難を強いられる。迅速に避難できるよう拡張予定の玉川野毛町公園に避難所機能を整備せよ。

副区長 地域の実情を踏まえ防災機能を発揮できるよう整備する。千歳烏山駅周辺まちづくりの推進

質問 京王線連立事業をはじめ駅周辺再開発は地域住民と共に汗を流し取り組むべきと我々は求めてきた。烏山支所に新設する駅周辺整備担当課はその決意の表れか。

副区長 時期を逸さずに、戦略的かつ総合的に取り組む決意である。東急大井町線の開かずの踏切解消

質問 自由が丘駅周辺の再開発が4年度から始まる。この機を捉え区は目黒区と歩調を合わせ東急大井町線の開かずの踏切解消を都と鉄道事業者に強く働きかけよ。

道路・交通計画課長 目黒区と鉄道事業者との連携を密に都へ働きかける。遅滞している学校改築の加速化

質問 学校は学びの場であるほか、避難場所や地域活動拠点の役割も担うため老朽化を放置すべきでない。財政見直しで延期した遅れを踏まえ年3校ペースで改築せよ。

区長 体制強化や財源確保を図り全庁一丸で全区的に改築を進める。高齢者施策でのeスポーツの活用

質問 他自治体ではオンラインゲームなどのeスポーツを高齢者施策に取り入れ、健康増進や交流機会創出を実現した。高齢者や単身世帯の増加も考慮し区も導入せよ。

高齢福祉部長 フレイル予防や交流機会確保の点で活用を検討する。川場移動教室を活用した環境教育

質問 川場移動教室において実践的な環境教育かつ川場村への愛着形成も図れる植樹作業を導入すべきだ。新設する気候危機対策基金や国の補助活用も視野に検討せよ。

教育総務部長 補助金などの活用や川場村との連携も含め検討する。議会無視の軽率な区のコロナ対策

質問 区の抗原定性検査キット無料配布事業は議会への報告も不十分であり、密回避策すら講じず区民を混乱させた。区は一連の軽率な行動を猛省し徹底的に総括せよ。

保健福祉政策部長 反省点を生かし多角的に検討を重ね真摯に取り組む。



公明党世田谷区議団
高橋 昭彦



小児接種に向けた正しい情報提供

質問 5〜11歳児へのコロナワクチン接種に際しては安全性などを心配する親の不安解消が急務だ。安心して子どもに接種を受けさせられるよう正確な情報を提供せよ。

住民接種担当部長 区報やSNSなどを活用し適切な情報提供に努める。区民ニーズに即した公共施設運営

質問 区は児童館にバンド練習ができる魅力的な音楽室を整備したが、閉館が早く休館も多いため非常に利用しづらい。民間活用も視野に入れ時間延長などに対応せよ。

子ども・若者部長 利用者のニーズを把握し、開館時間などを検討する。地域包括ケアの地区展開の強化

質問 多世代が地域で安全安心に暮らすため地域包括ケアを一層強化すべきだ。まちづくりセンター、あんすこ、社会福祉協議会に児童館を加えた4者で着実に進めよ。

副区長 早期に全地区の3者連携会議に児童館を加え連携を進める。旧池尻中跡地活用方針の再考

質問 区の旧池尻中跡地活用案は、コロナ前の政策の延長であり真に地域産業の活性化に資するとは言えない。4月の運営事業者公募は延期し、一定時間をかけ再考せよ。

副区長 今後のスケジュールは議会での議論などを踏まえ検討する。学校給食費の完全無償化の実現

質問 区における所得制限付の給食費無償化の仕組みではコロナ禍での家計急変世帯を対象にできない。給食も義務教育の場であるとの観点から所得制限を撤廃せよ。

教育総務部長 区の財政状況や国などの動向を基に慎重に検討する。高校3年までの医療費完全無償化

質問 都議会公明党の公約である高校3年までの医療費無償化が実現目前であるが、都が所得制限を設ける方針を示した。区は独自助成も視野に完全無償化を実現せよ。

区長 無償化の財源構成などの議論の早期開始を都に求めている。災害に負けないまちづくりの推進

質問 コロナ禍で重要性が増している災害時の在宅避難が十分機能するためには、日頃から区民同士との交流が不可欠だ。区は地域コミュニティの活性化に尽力せよ。

危機管理部長 地域活動の推進を図り在宅避難の普及促進を目指す。新BOPへの時間延長の導入

質問 学童クラブの時間延長は大多数の区で実施しており、度重なる保護者アンケートの結果からも必要性は明らかだ。全ての新BOPPでの時間延長を早急に実施せよ。

副区長 モデル事業再開に合わせ、本格実施の際の規模なども見通す。乳幼児教育の拡充に向けた展望

質問 区は教育・保育実践コンパスを示し乳幼児教育の質向上を掲げるが具体策が見えない。乳幼児教育支援センターでどう進めるか。

教育長 各幼稚園、保育所のノウハウの共有化を進め充実を図る。

本文中で使用している省略表記

支所 総合支所
あんすこ・あんしんすこやかセンター
Hi・na・ta
医療的ケア相談支援センターの愛称
東京20大会
東京20オリンピック・パラリンピック競技大会

二次元コードをご活用ください

今回号より二次元コードを掲載しています。
各議員の氏名の下に二次元コードを読み込むと、実際の議会での模様を録画映像でご覧いただけます。是非ご活用ください。



世田谷立憲民主党区議団
中村 公太郎



区コールセンターの回線数拡大

質問 区の新型コロナのコールセンターは開設時からの課題であるつながりにくさが第6波により深刻化した。区民が速やかに相談できるよう早急に回線数を増設せよ。

保健所長 設備や人材を充実させ、待たせない相談体制を整備する。自宅療養者支援物資の早期提供

質問 都の自宅療養者への支援物資の配送は感染急拡大により遅れている。区は申込み後、速やかに届くよう都との連携を強化せよ。

保健所長 都に対し支援物資を速やかに配送するよう強く求める。ワクチン副反応に対する不安解消

質問 3回目接種の伸び悩みは副反応の重症化への不安も要因の一つだ。区は実態調査や相談体制強化、補償制度の完備を国へ求めるなど区民の不安解消に注力せよ。

住民接種担当部長 区民への十分な情報提供など丁寧に対応していく。区民参加の促進に向けたDX活用

質問 区が地域行政でのDX化を進める中、活用案は広報ばかりが目立ち区民の声を聞く広聴機能が極めて手薄だ。区は認識を改めよ。

副区長 区民参加の拡充に向けて多様な手段で広聴活動を充実する。給付型奨学金の利用向上への取組

質問 児童養護施設退所者への奨学金の原資である寄附金が増えている一方、給付実績が1割にも満たず利用者数は低調だ。進学しない原因を分析して対策を講じよ。

区長 施設長や当事者、専門家を交え事業拡充に向け検討を始めた。全世代型「英語村」の創設

質問 国際交流が身近になった昨今、英語能力の習得は全世代共通の課題だ。区は国際人材育成の観点から乳幼児教育や生涯学習にも資する全世代型英語村を創設せよ。

教育長 多くの区民が英語に親しむ事業や環境整備を推進していく。



無所属 世田谷行革110番 維新
大庭 正明



毎年計画倒れが続く保坂区政

質問 元年度、2年度の新実施計画事業における目標達成率は4割前後と大変低く、保坂区政に不信感が募るばかりだ。計画最終年度である3年度の達成状況を示せ。

政策経営部長 目標達成の大幅な増加は難しいと考えている。計画達成率の改善に向けた見込み

質問 新実施計画事業での低調な達成率を踏まえると今後の区政運営にも期待が持てない。4年度は達成率をどのように改善するのか。

政策経営部長 常に目標達成を意識し、事業手法の転換などを図る。地域行政推進条例の全庁での再考

質問 地域の幅広い課題に取り組む地域行政というものに、担当部だけの視点で関連条例を策定することには無理がある。全庁挙げたオール世田谷で徹底的に再考せよ。

区長 庁内横断的な体制で地域行政制度の充実に取り組んでいく。DX推進における事業の数値化

質問 区の最重要政策であるDX推進が計画倒れに終わることは許されない。区はDX事業における目標や達成度を数値化し、具体的な進捗状況や方向性を議会に示せ。

デジタル政策部長 情報の数値化などに取り組み議会と議論を重ねたい。区長の身勝手な言動への自覚

質問 区長の身勝手なツイッターに不安を感じた区民からの問合せに対応しているのは、コロナ禍でただでさえ忙しい職員である。区長はこのことを自覚しているのか。

区長 区民からの批判も受け止め、職員と一丸で区政運営に尽力する。計画倒れ行政への区長の責任

質問 新実施計画の目標達成率が低調だった最大の要因は、職員や税金を使いこなせなかった区長にある。区長は自身の責任を認めよ。

区長 職員を含めて議論しながら進めてきたが最終責任は私にある。

2月22日及び24日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



阿久津 皇
(自 民)



北朝鮮の拉致問題解決への取組

【質問】 北朝鮮による拉致問題を早期に解決するためには、問題を風化させず区と議会で声を上げ続けることが重要だ。区長は区民への理解促進に向けてどう取り組むのか。

【質問】 解決に向け区民の関心と認識を深めるための取組を継続する。プロスポーツを見る機会の創出

【質問】 プロスポーツを見ることはスポーツを始める良いきっかけになる。リコーブラックラムズ東京などの区内プロチームと積極的に連携し区民の観戦機会を創出せよ。

【質問】 団体と区民の交流機会を設けスポーツに親しむ取組を進める。医療的ケア児への支援拡充

【質問】 医療的ケア児のいる家庭が安心して子育てを続けられる環境づくりと支援の拡充が急務だ。区立校や幼稚園での看護師などの配置について今後の見通しを示せ。

【質問】 看護師配置も進めながら切れ目のない支援の展開に努める。



くりはら 健之
(区 民)



NHK受信契約不要テレビの設置

【質問】 地上波放送を受信せずインターネットでの動画視聴に特化したチューナーレススマートテレビはNHKと契約が不要だ。リモート会議での活用も視野に導入せよ。

【質問】 既存の事務用パソコンとモニターなどで代用可能と考える。正しい個人を育む道徳教育の推進

【質問】 道徳教育では国が示す規範を子どもに押しつけるのではなく、自ら考え正しく行動できる個人を育むことが大切だ。区立校ではどのような教育を実践しているのか。

【質問】 自立し他者と共により良く生きるための道徳教育を進める。区における更生保護の推進

【質問】 地域の安全安心を守るため、罪を犯した人の社会復帰を支援し再犯を防ぐ更生保護の活動は重要だ。区は保護司や保護観察所と連携し更生に向けた支援を充実せよ。

【質問】 関係機関と連携し円滑に社会復帰できるまちの実現を目指す。



上川 あや
(虹)



弱者切捨ての改札無人化に対処を

【質問】 区のUD審議会にも委員を出す京王電鉄が国交省のガイドラインも区の整備基準も無視して改札無人化と駅員削減を進めている。区は基準をどう機能させる考えか。

【質問】 しっかり機能するよう鉄道事業者との連絡、調整を徹底する。駅改築中に駅員削減を進める危険

【質問】 高架化工事に伴い駅構造が変化し続ける中、京王は駅員削減を密かに進めている。区はホームドア設置まで駅員削減を控えるよう要請を強めるべきではないか。

【質問】 適切な人員配置を含め、安全上の十分な配慮を求めていく。同性ペアにも平等な義援金配分を

【質問】 区は私の提案を受け、新年度より同性ペアへの災害弔慰金の同額支給を開始するが、災害義援金についても平等配分の見通しが立ったと聞く。制度の概要を示せ。

【質問】 同性パートナーを含め対象範囲を定める要綱などを策定する。



いそだ くみ子
(立 憲)



トイレのユニバーサルデザイン化

【質問】 区施設の中には人工肛門保有者などに対応したトイレがあると表示しているにもかかわらず洗い場などがなく実質的に利用できない施設がある。早急に改修せよ。

【質問】 優先順位をつけ、できるところから設備の改善に努めていく。塩化カルシウムの危険性の周知

【質問】 塩化カルシウムは降雪後の路面や校庭の凍結防止に有効だが、直接触れると炎症を起こすなど取り扱いに注意が必要だ。本品の危険性を児童生徒に周知しているのか。

【質問】 散布エリアになるべく立ち入らないなどの指導を行っている。

全児童生徒を対象にした悩み相談

【質問】 児童生徒が悩みを相談できる場を拡充すべきだ。区が小学5年と中学1年を対象に実施している全員面談を、不安を抱える受験生をはじめ他の学年にも拡大せよ。



桜井 純子
(立 憲)



インクルーシブ教育実現への方策

【質問】 区立校では校長のインクルーシブ教育への理解度に差がある。障害の有無に関わらず共に学び共に育つインクルーシブ教育を世田谷の教育としてどう浸透させるか。

【質問】 各校の好事例やガイドラインなどを学校現場に周知していく。障害者理解促進に係る条例の目的

【質問】 区は障害者への理解促進と差別解消に係る条例制定に向け検討中だ。明石市が同様の条例案で掲げている社会全体をインクルーシブにする視点も参考に取組め。

【質問】 誰もが自分らしく共に暮らせる地域共生社会構築を目指す。戸籍窓口での本人確認方法の改善

【質問】 戸籍窓口での本人確認の際、婚外子に父親の氏名を書かせた差別事件を受け、戸籍を確認して聞き取るよう求めたが5年経つとも改善されない。直ちに対応せよ。

【質問】 現在の運用を見直す方向で事務処理の詳細などを検討する。



そのべ せいや
(都 民)



父親の育児を歓迎する取組の推進

【質問】 男性の育児を推奨する割にお出かけ広場や児童館の中には未だに母親のみが前提となっているケースが散見される。出産と関係ない不合理な父親差別は撤廃せよ。

【質問】 育児に関わる全ての方が参加しやすい事業の実施に努める。母子健康手帳を、子ども手帳に

【質問】 既に1割の自治体が親子健康手帳という名称を採用している。性別による子育てへの障壁をなくす契機として、世田谷区も母子健康手帳の通称を変更できないのか。

【質問】 父親や多様な形の家族での活用を念頭に国の動向を注視する。男性不妊の周知啓発

【質問】 不妊の原因は女性にあると思われがちだが、原因の約半数は男性にある。4月からの不妊治療保険適用化を好機と捉え男性不妊についても多世代に周知啓発せよ。

【質問】 男性も当事者であることを広く区民に向け周知啓発する。



中塚 さち子
(立 憲)



区の特色を生かした税外収入獲得

【質問】 税込減70億円に達するふるさと納税への区の対策は限界にきている。区ゆかりの著名人や人気の地域イベント等民間の力を借り、区内外に魅力発信し寄附を集めよ。

【質問】 魅力発信とともに寄附への結びつきを柔軟な発想で検討する。予期せぬ妊娠への早期相談支援

【質問】 予期せぬ妊娠に悩む若者は、親などに伝わることを恐れ区役所には相談しにくい。民間支援機関の案内チラシを学校などのトイレに設置し早期支援につなげよ。

【質問】 より多くの若い世代に相談先を情報提供できるよう取組む。中高年のひきこもり支援の方向性

【質問】 中高年のひきこもりへの支援は就労支援に限らず、高齢、障害部門と連携し福祉サービスや居場所につなぐことも重要だ。新たな相談窓口ではどう支援するのか。

【質問】 本人や家族の要望も尊重し総合的かつ継続的に支援していく。



中里 光夫
(共 産)



憲法9条を守る区長の積極的取組

【質問】 保坂区長の憲法9条を守る活動は平和を願う区民や活動団体の励みとなる。改憲に前のめりな国に対し、平和の取組を推進してきた区として積極的な対応を示せ。

【質問】 平和都市宣言の下で戦争回避への声を区民と共に上げていく。

緊急ショートステイの早期再開

【質問】 介護を担う家族のコロナ感染時に要介護者を受け入れる緊急ショートステイ事業を区は1月に終了させた。第6波での現場や事業者の声を踏まえ早急に再開せよ。

【質問】 4月以降の事業再開に向けて施設と協議や調整をしている。区立保育園が果たすべき公的役割

【質問】 コロナ禍で保育需要が不透明の中、区立園の整備抑制は保育の質を守る役割の後退につながる。保育関係者や保護者の参加と協働の下、区立園の役割発揮を進めよ。

【質問】 人員や財源を確保し、現場の声を広く聞いて進めていく。



ひえしま 進
(F 行 革)



区のずさんな事業執行による失態

【質問】 抗原定性検査キット配布事業では希望者が殺到し混乱を招いた上、キットが転売されるなど貴重な医療資源を無駄にした。区はこの結果をどう捉えているのか。

【質問】 効果的な使用方法の説明が不足した点など反省や課題が残る。利用率の低い臨時PCR検査会場

【質問】 区の無症状者限定の臨時PCR検査会場は開設当初の利用件数が日に10件にも満たなかった。急遽対象を広げたようだが1日300件の検査能力を生かしているのか。

【質問】 当初1日平均約7件だったのが2月21日時点では53件である。区長の軽率なリツイートの真意

【質問】 維新の会の橋下元代表をヒトラーに例えた菅直人元総理を擁護する記事を区長はリツイートした。政治色が強く他人を侮辱する主張に軽々しく賛同してよいのか。

【質問】 私は橋下氏を批判する趣旨でリツイートしたのではない。



青空 こうじ
(無所属)



地域共生社会の実現に向けた取組

【質問】 地域共生社会の実現に向け、障害者などが周囲に援助や配慮を求めるヘルプマークやヘルプカー

ドを普及すべきだ。ポスター掲示やイベントを通じ十分啓発せよ。

【質問】 商店街や障害者団体などと協力し、普及拡大に取り組む。災害時における自助・共助の促進

【質問】 災害時などに医療的ケアが必要な方を円滑に支援につなげる視点からもヘルプマークなどの利用を促すべきだ。区が2021年に開設したHi・na・haで周知を強化せよ。

【質問】 利用者本人やその家族などへ周知を図り、活用を促していく。ヘルプマークの一層の周知啓発

【質問】 民間のヘルプマークに係る調査では障害当事者の半数は存在を知らず利用率も約20%と大変低い。利用促進に向け区は当事者視点で具体的な啓発方法を検討せよ。

【質問】 障害当事者などとの協働を通じ活用を促す取組を検討したい。



金井 えり子
(生 産)



大人への消費者教育の機会拡充

【質問】 カード決済などの浸透で消費者被害が多様化する中、子どもに加え大人への消費者教育も重要だ。被害防止に係る講座のオンライン化など、教育機会を拡充せよ。

【質問】 カリキュラムなどを適宜見直し、講座の更なる活用を図る。ヤングケアラーへの支援強化

【質問】 家族の介護などを担う子どもを一層支援すべきだ。区が4年度に実施するヤングケアラー実態調査が今後の支援につながるよう、子どもたちの声を取組に十分反映せよ。

【質問】 結果を所管で共有し子どもや家庭への適切な支援につなげる。家族介護者支援に向けた人材確保

【質問】 介護を必要とする人が家族の負担を心配することなくサービスを選ぶことができる社会の実現に取り組みべきだ。区は介護人材の確保に、より一層力を注ぐ。

【質問】 介護人材を支援し質の高い介護サービスを安定的に確保する。





田中 みち子
(生 ネ)



子宮頸がんワクチン動奨への対応

質問 国が子宮頸がんワクチンの動奨を再開したが、副反応の割合は依然と高く実態の把握が肝要だ。区は医薬品の副反応に係る救済機構からの情報を議会に報告せよ。

答弁 副反応疑い事案の議会報告については今後検討していく。

子宮頸がんワクチンの正しい周知

質問 今般のワクチンは動奨中止前と同じものが改良されたものだとして認識している区民がいる。接種するかを正確に判断できるように有効性とリスクを丁寧に周知せよ。

副反応に係る支援体制の強化

質問 子宮頸がんワクチンの副反応に係る支援体制への区の課題認識は甘く、接種開始に不安が残る。万全の体制を築いた上で開始すべきと考えるが、区長の認識を示せ。

答弁 副反応などの支援体制について改善できるものは改善したい。



ひらかわ 駿
(新 風)



科学的知見に基づいた政策判断

質問 区民が納得できる区政運営には、科学的根拠や適正な手続に基づく意思決定過程の透明化が不可欠。混乱を招いた抗原検査キット無料配布の政策決定過程を示せ。

学校を核とした地域づくりの推進

質問 国が4年度予算案で示す「学校を核とした地域力強化」の視点は重要。私達全ての区民にとって学校が居場所や学びの場となるよう創意工夫を凝らして取り組め。

答弁 学校と地域が双方向で連携した実効性ある取組を検討する。

教育格差解消に向けた区の認識

質問 区のエデュケーション調整計画案には教育における格差についての記述が一切ない。子ども達の現

状から教育格差を再定義し子どもの健やかな成長の機会を創出せよ。

答弁 学力だけでなく多様な個性に目を向けることが重要と考える。



たかしょう 梨子
(共 産)



住民自治の充実に向けた条例制定

質問 区が進める地域行政推進計画では、住民自治の仕組みとして権限を有さない一地区情報連絡会が示された。多様な住民の参加を広げ、住民自治の発展を進めよ。

答弁 地域参加の機会づくりなど多くの方が携われる取組を進める。

旧池尻中跡地活用の計画見直し

質問 旧池尻中跡地の民間活用は広大な校庭も利用する計画だが、池尻小や地域団体が日常的に使うため継続的な使用を保障すべきだ。区は住民の声を聞き計画を見直せ。

答弁 団体が引き続き活動できるように場の確保について検討する。

北烏山地区会館廃止に伴う影響

質問 区は北烏山地区会館を廃止する予定だが、近隣に30人規模の会議室がなく集会施設の配置基準にも反するため存続すべきだ。区はサービス低下に対応できるのか。

答弁 寺町通り区民集会所へのリモート会議の整備などを検討する。



かみにし りさ
(国 際)



障がい者が活躍できる機会の拡充

質問 共生社会の実現に向け、障がい者が能力を生かし活躍できる機会を拡充すべきだ。農福連携などによる就労の場や、文化芸術の才能を生かせる場を拡大せよ。

答弁 障害者が自身の能力を生かし活躍できる場の拡充に取り組む。

多文化共生・国際交流事業の推進

質問 区は今般の組織改正で国際交流や文化芸術振興を担う生活文化政策部にホストタウン業務を移管する。これを機に、多文化共生・国際交流事業を一層推進せよ。

答弁 区民参加の機会を創出し当該事業の推進に一層取り組む。

MaaSによる移動利便性の向上

質問 MaaSというサービスの導入は移動の利便性を高め、交通不便地域や気候危機などの課題解決につながる。早期実現に向け、交通事業者との連携を強化せよ。

答弁 交通事業者から情報を収集し積極的に調査研究を進める。



ひうち よこ
(世田谷)



無料PCR検査体制の拡充

質問 区内の薬局や区施設などで実施中の都のPCR等検査無料化事業は、濃厚接触者などが気軽に受検でき不安解消につながっている。検査場所の更なる拡充を図れ。

答弁 2月16日時点で区内に23か所ある会場の増設を検討していく。

サイクルマップの利用促進

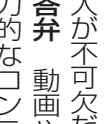
質問 区民がサイクリングをより楽しめるよう区内名所を記したサイクルマップの利用促進を図るべきだ。スマートフォン仕様に変更、既存の観光マップとも連動させよ。

答弁 サイト上でリンクを貼るなど、観光情報との連携強化を図る。

電子図書館の圖書の充実

質問 区の電子図書館は利便性の高さから区民に好評だが、書籍数は蔵書全体の僅か0.1%であり図書館のDXを進める上でも更なる導入が不可欠だ。今後の計画を示せ。

答弁 動画や音声版など、より魅力的なコンテンツの充実を図る。



いぬえ 三郎
(自 民)



特殊詐欺被害に対する区の認識

質問 区民生活を守るための特殊詐欺撲滅対策が急務の中、区での被害は10年連続して23区で最も多い。対策が一向に進んでいない現状を区はどう認識しているのか。

答弁 より実効性、即効性の高い対策の必要性を認識している。

特殊詐欺撲滅に向けた区の対応

質問 区は特殊詐欺を重要課題と位置づけるにもかかわらず、4年度予算に計上した自動通話録音機

の購入費はあまりにも少ない。購入台数はどのように決めたのか。

答弁 2021年の貸出し台数に基づき次年度の購入台数を200台とした。

若者への特殊詐欺防止の啓発

質問 若者が特殊詐欺グループに利用され犯罪に加担する事件が増えている。未来ある若者を加害者にも被害者にもさせないため、地域ぐるみで啓発活動を強化せよ。

答弁 若者をはじめ地域全体の意識向上と見守り活動促進に努める。



菅沼 つとむ
(自 民)



三軒茶屋分庁舎一部移転への道筋

質問 区は建て替え後の昭和信用金庫三軒茶屋支店に、産業振興公社など三軒茶屋分庁舎の機能を一部移す予定だ。賃貸借に向けた予算措置や仮契約などの状況を示せ。

答弁 仮契約はしておらず一部使用の覚書を取り交わす予定である。

旧池尻中跡地活用事業の費用負担

質問 区は旧池尻中跡地活用において耐震改修費などとして2億3000万円超を4年度予算に計上した。運営事業者決定後の外構と内装の工事費は誰が負担するのか。

答弁 予算額は未定だが外構は区が内装は事業者が負担予定である。

区立校校庭への人工芝の早期導入

質問 駒沢小のゴムチップ舗装の校庭は雨天時に滑りやすく、経年劣化による色落ちや破損も激しい。補修時期を機に耐用年数が長く工事費も同程度の人工芝化を進めよ。

答弁 モデル実施も含め、校庭整備の基本的な考えを適宜見直す。



江口 じゅんじ
(共 産)



コロナのPCR検査等の拡充を

質問 福祉・学校施設の職員・利用者対象のPCR社会的検査等は集団感染防止等に繋がり、区民は評価している。対象拡充と体制強化、広く区民対象の実施を求める。

答弁 感染状況などを踏まえ体制強化や対象拡充するなど見直す。

18歳までの子ども医療費助成を

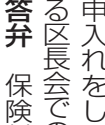
質問 我が党が実施を求めた議会質問や世論もあり都は準備経費を計上した。所得制限・自己負担なし、入院中の食事代も助成する制度とし財源も都の責任だと求めよ。

答弁 5年度の実施に向け制度設計を行い都に必要な措置を求める。

4年度国保保険料の抑制引下げを

質問 都は4年度国保料の大幅値上げ案を提案した。我が党は区長に次期保険料の抑制・引下げ求め申入れをした。次期保険料を決する区長会での区長の対応と成果は。

答弁 保険料上昇抑制を訴え保険料負担増加を抑制することとした。



田中 みち子
(F 行革)



半強制的な募金集めの改善

質問 区が町会自治会に募金を要請する手法では、本来任意である募金が半強制的になり問題だ。区施設に募金箱を置くなど個人が自発的に行うよう実施方法を改めよ。

答弁 様々な募金方法を周知し区民に理解と協力をお願いしていく。

民生委員の報酬に係る区長の見解

質問 区長は民生委員の成り手不足解消に向けた報酬付与に前向きだったが、今定例会では制度の枠組み内で改善すると消極的な答弁に一転した。考えが変わったのか。

答弁 まず枠組み内で改善を図り、民生委員の声も聞き検討を深める。

精神障害者のきょうだいへの支援

質問 精神障害者のきょうだいは、親からとり残され甘えることもできず、将来不安を抱えて孤独の中にいる。区は相談したりホッとしてたりできるような居場所をつくれ。

答弁 精神障害者の家族支援に、きょうだいの視点も加え検討する。



高岡 じゅんじ
(生 ネ)



脱炭素社会の実現に向けた方針

質問 区が掲げるCO2排出量実質ゼロを2050年までに達成するには、全区民が暮らし方の変革に取り組む

必要がある。気候危機対策基金の創設を契機とした施策方針を示せ。

答弁 区独自施策を示し区民や議会などの意見を伺いながら進める。

実効的な気候危機対策の推進

質問 気候危機対策には車に依存しない社会の実現や災害対策に資するグリーンインフラ整備で街が変わることが必要だ。都市整備所管で連携し主体的な取組を進めよ。

答弁 戦略的・効果的な都市整備政策を検討し職員一丸で取り組む。

区内でのリユース事業の展開

質問 区民にも好評な区の粗大ごみのリユースに係る実証実験は資源循環型社会の実現への一歩になると考える。効果や将来的な活用策を明確にした上で本格実施せよ。

答弁 検証で良好な結果が得られた場合は、新事業として展開する。

旧池尻中利用団体の活動継続担保

質問 旧池尻中跡地活用に際し、区は校庭の団体利用を制限する可能性があるにもかかわらず代替地確保などの説明がない。活動場所確保できているのか明確に示せ。

答弁 過去の閉校事例も参考に代替場所を確保できるよう調整する。

旧保健センター跡地の活用方針

質問 元年度の若林地区での車座集会で、住民から旧保健センター跡地への児童館などの整備を望む声があったが、区からの回答はいまだない。検討状況を説明せよ。

答弁 区分所有者の世田谷区医師会と跡地の取扱いを協議している。

硬式野球の活動場所の拡大

質問 区内で硬式野球ができる場所は少ない。区立公園のグラウンドに、バッティングゲージなどを設置し飛球対策を講じることや、硬式野球での利用を可能とせよ。

答弁 ゲージの設置なども含め他球場の事例も参考に検討していく。



問 質 一 般



羽田 圭二
(立 憲)



建設事業者と連携した取組の強化

質問 個人宅の屋根修繕に係る訪問詐欺が発生している。被害防止に向け、区内建設事業者と連携して良質なサービスの提供と詐欺事例の周知を行うなど一層取り組み。
答弁 地域から信頼される建設業となるよう支援を行っていく。

異学年交流の更なる推進

質問 中里小では新たなモデルとして異学年交流を積極的に進める中で、異学年学級編成上の教員配置や周辺校の連携などの課題が見えてきた。今後どう取り組むのか。
答弁 研究校を複数指定し、異年齢集団での学びの効果を検証する。

玉川浄水場の給水拠点機能の維持

質問 都は昨年玉川浄水場の廃止計画を表明した。災害時での安定した飲み水の供給に向け、当該施設が引き続き給水拠点としての役割を果たすよう都へ働きかけよ。
答弁 廃止する計画だが災害時の給水拠点機能は残すと聞いている。



河野 俊弘
(自 民)



区民目線でのせたがやベイ普及策

質問 せたがやベイを地域通貨として普及させるには区民目線での方策が必要だ。行政窓口での決済や区民ならではの特典付与など、民間が成し得ない価値を創出せよ。
答弁 地元イベントの協力者へのポイント付与など、活用を広げる。
教育分野におけるDX推進

質問 学校ではコロナ禍での子どもの教育機会確保と教員の負担軽減が急務だ。オンライン学習用の万全なネットワークと教員のリモートワーク環境を早期に整備せよ。
答弁 ネットワークの増強とリモートワーク環境整備を進めていく。
プラスチック資源循環施策の推進
質問 区はプラスチック製品の分別収集・再商品化の在り方を検討中だ。実施した際の経費の増加や

分別収集開始に伴う丁寧な周知などの課題に区はどうか対応するのか。
答弁 諸課題の整理や手法の検証を十分行い、区の対応を決める。



あべ 力也
(減 税)



一人暮らしや夫婦のみ世帯対策を！

質問 区の世帯割合は一人暮らし世帯が53%、夫婦のみ世帯は17%と孤独や孤立が懸念される。次期基本計画には人口構成による世田谷の課題として政策の軸とせよ。
答弁 人口構成や地域社会の見通しなど様々な角度から分析する。

保育園に紙おむつサブスク導入を

質問 渋谷区が導入した保育園での紙おむつ定額サービスは保護者が園に持参する手間や保育士が園児ごとに管理する負担を軽減した。衛生面も踏まえ区でも取り入れよ。
答弁 渋谷区の取組などを保護者の意見も聞きながら検討していく。

区立保育園のお昼寝の見直しを

質問 区立保育園での昼寝について、3歳児以降は無理に寝かされるストレスや夜の寝つきが悪くなることを心配する保護者の声を聞く。区は昼寝方針の見直しを図れ。
答弁 一人ひとりに合わせ柔軟に対応していく必要があると考える。



小泉 たま子
(新 風)



説明会における不誠実な区の対応

質問 宇奈根・喜多見地区のバス路線変更に係る説明会において、区は地域住民の路線維持を求める要望書を受け取らなかった。区は不誠実な対応を猛省し、即刻止せ。
答弁 地域の声を十分受け止め区民生活を支える取組を進めていく。

地区レベルでの総合行政の実現

質問 区の地域行政制度改革では地区を基点に行政の縦割りを排した行政組織を目指すべきだ。まちづくりセンターへの権限付与を進め地区での総合行政を実現せよ。
答弁 総合的な行政サービスの充実を地区から進めていく。

重要性が増す対面窓口の改善

質問 区は地域行政制度改革の検討を進めるが、対面窓口の重要性の高まりをまるで認識していない。まずは、混雑や不便さ、たらい回しが起きる原因を早急に検証せよ。
答弁 窓口の重要性を認識して職員育成を進め対応力向上を図る。



福田 たえ美
(公 明)



特別支援学級の地域偏在の解消

質問 特別支援学級が区内の一部地域に集中しており、通学距離や通学時間を理由に断念する子どもも少なくない。区はあらゆる手を尽くし早急に地域偏在を解消せよ。
答弁 従来手法にとらわれず柔軟な発想で地域偏在解消に取り組む。

学習障害の子どもへの効果的指導

質問 学習障害の子どもは障害の程度で症状が様々だ。個々の状況に応じた効果的な学習支援ができるよう、科学的根拠に基づいた指導やタブレット端末の活用を進めよ。
答弁 他自治体での先進的取組などの情報を収集し指導充実を図る。

離婚家庭への面会交流支援

質問 明石市の離婚家庭への面会交流支援では子どもが安心安全に交流できるよう第三者による面会日程調整などを無料で行っている。区も有効な交流支援に取り組め。
答弁 国の動向を注視し必要な支援や効果的な周知方法を検討する。



加藤 たいき
(自 民)



出産費用に係る助成制度の拡充

質問 少子化に歯止めをかけるべく出産による経済的負担を減らす対策を充実すべきだ。第三子以降の出産費用を一部助成する区の制度を改め第一子から全額助成せよ。
答弁 国の動向を注視し時期を捉え必要な制度改正などを行う。

複合的な高齢者施策の推進

質問 民間スポーツクラブを高齢者の居場所として活用する事業は孤立防止や健康増進に資する有効な施策だが、区は3年度の実施を見送った。4年度こそ実施せよ。
答弁 スポーツクラブとの連携を含め高齢者施策を検討していく。

な施策だが、区は3年度の実施を見送った。4年度こそ実施せよ。
答弁 スポーツクラブとの連携を含め高齢者施策を検討していく。

先端技術を活用した特殊詐欺対策

質問 品川区は特殊詐欺対策としてAIが通話内容を分析し注意喚起を促す自動通話録音機を導入し成果を上げている。区も先端技術を活用した実効的な対策を講じよ。
答弁 他の導入実績や効果などを検証し有効な対策の実施に努める。

今後の区立幼稚園の在り方

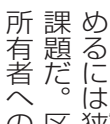
質問 区立幼稚園の入園者数が大幅に減少する中、私立園では閉園の危機に直面する園すら存在する。区はこうした事態を踏まえ、区立園の在り方をどう考えていくのか。
答弁 適切な規模などの検討体制を築き7月を目途に在り方を示す。

公共施設の複合化の加速

質問 公共施設の適正配置の視点から学校改築時の複合化を加速すべきだが、奥沢中の例では児童館併設に約8年を要する。生徒数減少も見据え着実かつ迅速に進めよ。
答弁 多角的視点で最適かつ早期の整備を関係所管で鋭意検討する。

狭隘道路の解消に向けた取組

質問 災害に強いまちづくりを進めるには狭隘道路の解消が喫緊の課題だ。区は拡幅整備に係る土地所有者への助成を増額する方針だが、どの程度の効果を見込むのか。
答弁 土地所有者の負担を少なくして、整備実績の増加を見込む。



佐藤 美樹
(あらた)



SDGsを取り入れた事業評価

質問 地球規模の資源不足が心配される中、持続可能な社会実現への取組を着実に進めるべきだ。区はSDGsの視点で施策を評価し続けながら次期基本計画を定めよ。
答弁 民間調査による課題分析を行い、施策の評価方法を検討する。

学校教育と学童クラブの情報連携

質問 区が学習や学校生活の情報一元化を進める中、放課後の過ごし方も教育上重要な情報であるため追加すべきだ。学童クラブの放課後児童システムとの連携を図れ。
答弁 システムの更新を見据え情報連携しやすい仕組みを検討する。

実態に即した特別支援学級の整備

質問 区は自閉症・情緒障害特別支援学級の整備計画を入室希望が想定を超えたため見直した。実態に即した計画となるよう未就学時の情報を持つ福祉所管と連携せよ。
答弁 教育と福祉の所管で情報共有を図り設置校増に向け整備する。



2021年12月に開設した「教育総合センター」



インターネット議会中継をご利用ください

本会議と予算・決算特別委員会の模様を区議会ホームページで、ライブ配信しています。ライブ映像は、会議終了後、当日のうちに録画映像としてご覧いただけます。議員ごとに編集した映像は、会議のあった日からおおむね1週間後に配信します。インターネット議会中継は、パソコンだけではなく、スマートフォンでもご利用いただけますので、臨場感あふれる映像をぜひご覧ください。



世田谷区議会 議会中継 で検索！

こちらの二次元コードからもアクセスいただけます！



4年度予算を審査するため、47名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月8日から3月24日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。
ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された4年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…石川 ナオミ
公明党世田谷区議団……………佐藤 ひろと
世田谷立憲民主党区議団…藤井 まな
無所属・
世田谷行革110番・維新……大庭 正明
日本共産党世田谷区議団…中里 光夫
生活者ネットワーク
世田谷区議団……………金井 えり子
新風・せたがやの風……………小泉 たま子
減税せたがや……………あべ 力也
レインボー世田谷……………上川 あや
世田谷無所属……………ひうち 優子
Seitabaruあらた……………佐藤 美樹
都民ファーストの会……………そのべせいや
国際都市せたがや……………神尾 りさ
区民を守る会……………くりはら博之
無所属……………青空 こうじ

区長は明確な将来像を区民に示し
持続可能な区政の実現に尽力せよ

―自由民主党世田谷区議団―

(全ての会計に賛成する意見)



新型コロナウイルス感染症の猛威は2年経つとも収束が見通せない。この間、各自治体は首長を先頭に感染症対策と合わせ地域経済支援や学校休校対応など、かつてない苦境を乗り越えるべく奮闘してきた。翻って保坂区長はツイッターでの政府批判に始まり、庁内で議論すらせず「世田谷モデル」と称してテレビで喧伝した無症状者へのPCR検査や、議会をないがしろにし暴走した愚策ともいえる抗原定性検査キット無料配布に至るまで、その独善的な行動は大混乱を招いただけで区民の安心安全にはつながらなかった。一方、コロナ禍で止まったままの事業が山積しており看過できない事態だ。今こそ我が会派が幾度となく求め

たりリーダー像を体現し、事業を前進させるべきだ。区長は自らのビジョンを明確に示し組織で十分共有した上で、議会と真摯に議論し重要な判断を先送りせず決断せよ。次期基本計画の策定に際しては、「今」の積み重ねが「未来をつくる」ということを区長は胸に刻み、議会の声を真剣に受け止め、区政運営に注力するよう強く要望する。

以下、我が会派が特に重要視する施策について申し述べる。
旧池尻中跡地活用について、我が会派はものづくり学校事業17年間の総括が不十分なまま検討を進める区長の姿勢を質するため、数々の問題点を指摘し、全庁的な見地での再考と議会の理解を得ず拙速に予算計上しないことを再三忠告してきた。しかし、区は結論ありきの検討でお茶を濁し、当初予算案に耐震改修経費などを計上した結果、多くの会派からも厳しく追及された。鈍感力に優れた保坂区長といえども計画が了とされない理由を理解したのではないか。区長は約束どおり現計画に基づく4月の運営事業者募集を取りやめ、経済効果の見立ての妥当性、類似事業との重複問題、校庭を含む学校施設の一体活用の必要性など、諸課題を整理し地域へ丁寧の説明するとともに、事業撤退にかかる基準の設定などについても独断専行を厳に慎み、議会の合意形成が取れるまで議論をし尽くせ。

DX推進と地域行政改革は区民サービス再構築における車の両輪だが、社会のリモート化の流れに区役所は取り残されている。自宅や身近な窓口での手続や相談の完結はもとより、申請主義から区民ごとに最適な情報とサービスを届けるプッシュ型行政に転換を図れ。災害対策や交通不便地域対策など地区特有の課題解決はまちづくりセンターを中心に地区主体で取り組み。DX推進と地域行政、本庁舎整備を統括する特命担当副区長を新たに選任し取組を加速せよ。子どもの育ちと学びを支える環

境の整備は決して滞らせてはならない。児童館未整備地区の解消に向けた整備計画を早期に策定せよ。学校改築は年2校から3校に増やし、校庭の人工芝化のモデル実施も行え。2023年に導入予定の統合型校務支援システムは、個人情報管理などの課題を整理し、児童生徒一人ひとりに応じたプッシュ型指導の実現に資するものとせよ。

4年度予算は歳入の根幹となる特別区税と特別区交付金の大幅な増加が見込まれるが、区財政は社会保障関連経費や老朽化した公共施設の更新経費、災害に強いまちづくりに向けた都市基盤整備への投資など、長期的に多額の支出が見込まれている。想定外の税収増に浮かれず持続可能な財政基盤の構築に向け、抜本的な事務事業の見直しや積極的な民間活用など徹底した行財政改革を進めよ。何より、区民の代表である我々区議会と虚心坦懐に議論の上、施策を立案し区民全体の福祉向上に資する区政運営を行うことを強く求める。

未来を見据えた行財政改革を進め
未曾有の危機的状況を打破せよ

―公明党世田谷区議団―

(全ての会計に賛成する意見)



4年度の区財政は特別区税が94億円、特別区交付金が12億円の前年度比増を見込むが、不安定な世

界情勢やぶるさと納税による減収などを踏まえると依然、予算を許さない状況だ。我が党が指摘する重複事業の見直し、公有財産活用による稼ぐ公共への転換などの道筋はいまだ不透明であり、結論を出せない、結果を求めない保坂区政の「参加と協働」の弊害と言える。誰のため、何のための行財政改革なのか、との目的を明確にした上で区政運営を進めよ。

以下、我が党が最重要課題と考える施策について意見を述べる。
第1に、未来への投資として全

ての新BOPでの時間延長を早期に実施するとともに、所得制限を撤廃した上で学校給食費と高校3年までの医療費の無償化を実現せよ。また、児童館未整備地区への整備は民間活用を前提に進めよ。

第2に、ワクチン接種会場の配置偏在や検査キット配布による混乱など、区の感染症対策には、これまでの教訓が全く生かされていない。改めて目的を明確にするとともに医療機関との連携を密にし、第7波に備えた万全の体制を築け。

第3に、コロナ禍での地域コミュニティの衰退を克服するため、地区を強化すべきだ。まちづくりセンター所長が地区の総合責任者となり、あんすこ、社会福祉協議会、児童館との4者連携による実効性ある組織へ変革するため、まちづくりセンターの権限強化を地域行政推進条例に明記せよ。

第4に、首都直下地震に備え、社会状況の変化を踏まえた新たな災害協定の締結を検討せよ。既存の協定は危機管理部門による総点検を行い、実効性を確保せよ。

第5に、旧池尻中跡地活用は、区内の商業・工業・農業・建設業の4本柱を軸に地域産業活性化を図り、区民の暮らしに利益が還元される視点が重要だ。資源循環を通じた新規事業を支援するなど新しいモノやコトを生み出すイノベーションの拠点を築け。また議会との合意形成が成されるまではプ

ロポーザルも耐震工事も進めるな。第6に、外郭団体改革の取組からは、団体の自主・自立性の確立に向けた方向性が全く見えない。団体の果たす役割や存在意義を明らかにして存続の可否を判断せよ。

議会の提言を真摯に受け止め
行政の改善と発展に力を注げ

―世田谷立憲民主党区議団―

(全ての会計に賛成する意見)



ロシアのウクライナ侵攻に強く抗議する。避難民の受入れに備え、区営住宅や空き家の活用、寄附を募る仕組みづくりや地域団体と連携した言語対応などに取り組め。

災害対策に女性の視点を取り入れよ。在宅避難の促進に向け、家庭への蓄電池の設置補助を進めよ。

4年度予算は前年度に比べ約136億円増額の約336億円となるが、新型コロナの影響で家計が急変した区民も多く、収入格差の拡大が懸念される。多額の医療費を負担している新型コロナの後遺症者への支援策を講じよ。感染リスクの高い介護現場の労働環境を整備し職員の負担軽減を図れ。子どものワクチン接種に係る正しい情報提供や相談窓口の案内を徹底せよ。新型コロナの影響を受けた区民や事業者への支援に注力せよ。

一時保育を更に充実させよ。子どもの医療費と学校給食費の完全無償化を図れ。特別支援教育やインクルーシブ教育を推進せよ。開設する不登校特例校分教室では子どもの権利を第一に、子育て世代にも寄り添った施策を展開せよ。

せたがやペイ登録店が導入による効果を実感できるよう更なる施策の充実を図るとともに、労働報酬下限額を180円に増額するなど、社会情勢に鑑みた区内経済の活性化策を講じよ。持続可能な地域経済の実現に向け、大量生産や大量消費を見直すとともに就労支援を強化せよ。旧池尻中跡地活用事業では起業や既存産業を支援せよ。各種事業を民間委託する際は、区の公的責任を担保せよ。国が個人情報保護法を改正しても区独自の保護規定は堅持せよ。

都市整備領域でのDXを進めよ。

みどり率33%の達成困難な状況を踏まえ抜本的な解決策を講じよ。中高年のひきこもりや認知症、消費者被害、防災など所管を超えた取組が必要だ。地域ケア会議により多くの職員を参加させよ。

区長は新実施計画の失敗を猛省し
区民が納得できる区政を実現せよ

―無所属 世田谷行革110番・維新―

一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見

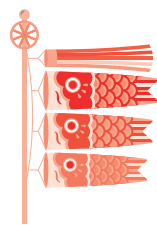


平成26年度〜令和3年度の8年にわたり、区の新実施計画の達成率が5割にも満たず終わったことは看過できない事態であり、我々は、区がこの失敗の原因を解明しないまま4年度事業を執行することを到底容認することはできない。

以下、新実施計画が失敗に終わった要因について示し猛省を促す。

まずは、副区長の頻繁な交代劇をはじめとした不安定な人事体制だ。この体制では誰が計画に責任を持つのか曖昧となりバラバラな保坂区政を露呈する結果となった。また、計画の進捗を丸投げし目先の話題づくりに終始した区長の下では計画が進むはずがない。区長たるものの区政運営に専念せよ。計画行政における情報公開の責務を果たす方法として区長記者会見を行う度に計画達成率を公表せよ。

現在、区は役所の論理で住民自治の充実を目指しているが、区民が望んでいることは、議会が届ける住民の声を区長が執行機関として着実にサービスとして実現していくことだ。しかし、今定例会の予算審議を通じ改めて区長の無責任な姿勢を目の当たりにし、我々は今後の区政を大変危惧している。



4年度予算に対する会派等

参加と協働の下で区政を運営せよ

ー日本共産党世田谷区議団ー

（国保会計と後期高齢者会計には反対、一般会計と介護会計と給食会計には賛成する意見）



区長は区民の命と健康を守ることを根幹に据えた区政運営を基本姿勢としてきたが、コロナ感染症対応は、全国に先駆け大規模PCR検査を進めてきた。保健所や検査体制を拡充し引き続き取組め。参加と協働は政策形成過程での参加や住民自治確立で課題がある。区立図書館や学童クラブへの民間活用で継続性・安定性・専門性などの公的責任が果たせるのか。参加と協働で再検討を求める。

コロナで疲弊する事業者や家計急変世帯への支援強化せよ。18歳までの医療費無料化実施せよ。多子世帯の国保料軽減拡充を国に求めると共に区独自に行え。不登校児、発達障害児対策強化、すまいるルームの教員加配を行え。地域行政推進条例に区民の権利、主体的参画を明記せよ。都市計画道路の必要性を住民参加で検証せよ。

次世代につなげる区政を実現せよ

ー生活者ネットワーク世田谷区議団ー

（全ての会計に賛成する意見）



今こそ、子どもや若者が平和と人権を学ぶ機会を設けよ。DX推進では区独自の個人情報保護制度を維持し、区民の参加を促せ。災害時の住民相互協力を視野に地域行政推進条例をつくれ。環境が未来の命にかかわる問題であることを理解し、全事業に環境配慮がいかわたるよう、区職員の意識向上に向けた研修を充実せよ。高齢者やエッセンシャルワーカーの感染症対策強化、子どもへのコロナワクチン接種についての公正な情報提供、副反応への早期対応に努めよ。性別や雇用にかかわる格差是正を図れ。介護人材確保とヤングケアラー支援、認知症対策を進めよ。福祉と教育所管が連携を強め

子どもの権利を守れ。子宮頸がんワクチン接種については本人が判断できるよう、支援団体のリーフレットを使い学校で情報提供せよ。

区民理解の得られる区政を目指せ

ー新風・せたがやの風ー

（全ての会計に賛成する意見）



区政運営を進める上で区民から理解を得る努力を惜しんではならない。政策決定の判断と過程を透明化し、区民に伝わりやすくせよ。また、重要政策は検討委員会任せにせず区が責任を持って実現せよ。区の貴重な財産である旧池尻中跡地の活用方法は全庁で再検討せよ。地域行政推進条例素案は地域行政部のみで検討した結果、まちづくりセンター機能の充実を図るだけの内容になっている。本庁機能のスリム化や支所の地域経営力の強化、地区での総合行政の展開などの視点を加え、全面的に見直せ。

命を守る区民第一の行政構築を！

ー減税せたがやー

（全ての会計に賛成する意見）



新型コロナから区民の命を守るため症状の有無にかかわらずPCR検査を受けられる体制の継続と充実を図れ。4年度予算はDXにより古い行政からの脱却を目指す改革の予算だ。区長を先頭に職員が一丸となり、スピード感を持って区民第一の行政構築に邁進せよ。

公平な社会実現に真摯に取り組み

ーレインボー世田谷ー

（全ての会計に賛成する意見）



区が放置している物件もの違法な道路占用物件への指導を速やかに、占用料徴収を怠るな。ワクチン予約サイトを色覚異常のある方でも見やすい仕様に改め、また区民の安全を守る視点で鉄道などの民間事業者と連携を強めるなど多様性に配慮した施策を進めよ。

区民を守るよう迅速に対応せよ

ー世田谷無所属ー

（全ての会計に賛成する意見）



区民が気軽にPCR検査を受けられる体制を拡充せよ。自転車の利用者増を踏まえ、安全対策の強化や民間と連携したシェアサイクルの普及を図れ。区立校に防災ヘルメットを配備せよ。生物多様性の保全に取り組み。中小企業支援などのコロナ関連施策を強化せよ。

行政におけるDXを加速せよ

ーSetagaya@itー

（全ての会計に賛成する意見）



情報化社会を生きる子どもには、物事の本質を見抜き深く考える力が求められる。区立校ではタブレット活用による探究的学びの推進に引き続き注力せよ。教育現場に比べ行政全般でのDXは停滞している。区民に情報格差が生じぬよう十分留意し、DXを加速せよ。

抜本的な行政改革に踏み出せ

ー都民ファーストの会ー

（全ての会計に賛成する意見）



未来を担う若者の希望や財産を守るため、今後の歳出増を見据えた抜本的な行政改革が急務だ。公有財産活用による収益確保や区民の資産情報に基づく個別最適な行政サービスの提供を実施せよ。事業手法の改善などにより予算拡充に頼らない政策実現を進めよ。

組織を変革し地域課題に対応せよ

ー国際都市せたがやー

（全ての会計に賛成する意見）



昨今の複雑な地域課題に対応するため、庁内連携を強化し施策を拡充せよ。柔軟で迅速な事業執行に向け、機動的な組織を構築せよ。子どもが国際社会で何ができるかを考えるきっかけとなる国際交流

事業を展開せよ。誰もが未来に向けて挑戦し続けられる社会を築け。

安心して暮らせる世田谷を築け

ー区民を守る会ー

（全ての会計に賛成する意見）



災害に強いまちの実現に向け、インフラ整備に尽力せよ。NHKの悪質な訪問集金活動、卑劣な犯罪行為から区民を守る施策を強化せよ。虐待や貧困から子どもを守る取組を拡充せよ。誰もが安心して暮らせる世田谷の実現に資する取組に積極的な予算配分を行え。

子どもに寄り添った施策を行え

ー無所属ー

（全ての会計に賛成する意見）



平和に係る取組や東京2020大会のレガシーを生かした施策を進めよ。子どもへ障害理解を促すため地域のバリアフリー化の事例を啓発せよ。子どもへのコロナワクチン接種に際しかりつけ医での接種体制を拡充せよ。接種の有無でいじめが起きないよう学校で指導せよ。

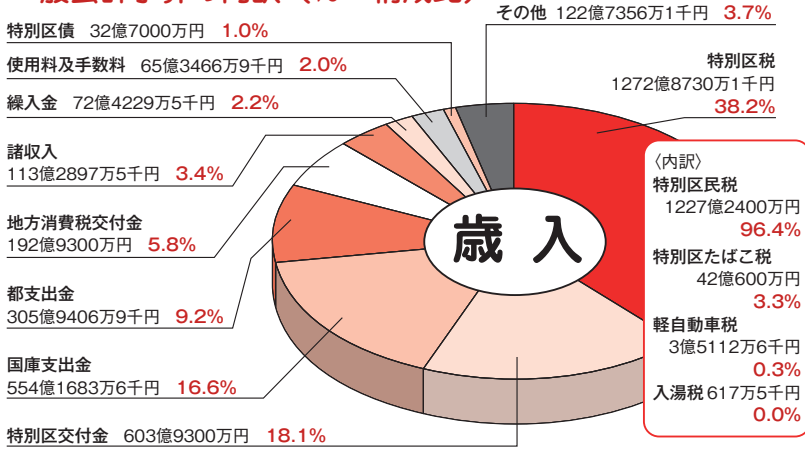


予算特別委員会での採決の様子

令和4年度各会計予算

内 容		対前年度比増減率
一 般 会 計	3336億3370万6千円	4.3%
特別会計		
国民健康保険事業会計	823億6947万6千円	3.3%
後期高齢者医療会計	233億8026万8千円	8.2%
介護保険事業会計	699億2631万2千円	2.9%
学校給食費会計	30億8757万8千円	1.0%
計	5123億9734万円	4.1%

一般会計予算の内訳（％＝構成比）



令和4年度 予算のあらまし

